



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月20日（木）



2年生は、校外学習（遠足）で国営武蔵丘陵森林公園へ出かけます。画像は、出発式の様子です。実行委員の子たちが、司会をつとめ、めあての発表を行っています。今日は、一日よい天気恵まれそうなので、楽しい校外学習になることでしょう。電車で行くので、公共のマナーをしっかり守って安全に行動してほしいものです。私は、午後出張業務があるので、校外学習での子供たちの様子は、明日あらためてお伝えします。



図書室では、学校図書館支援員さんがブックトークをしていました。大きなパネルに物語の挿絵を貼り、それを動かしながら、まるで演劇のようにお話を進めていきます。1年生の子たちは、食い入るようにパネルを見つめ、時に笑い、時に支援員さんの投げかけに答えたりしながら、お話の世界にどんどん引き込まれていました。



来月は、読書月間です。秋も深まってきて、読書を楽しめる季節になりました。お気に入りの一冊は見つかるでしょうか。次のお話朝会では、私のおすすめの本を紹介したいと思います。

5年生は、理科室で実験・観察中でした。みんなビーカーの中身をじっと眺めています。学習しているのは、物の溶け方です。この単元では、物の溶け方について、溶ける量や様子に着目します。本時は、食塩をティーバッグに入れて、ビーカーの水に浸します。すると、溶けた食塩がティーバッグを通り抜け、水の中にゆらゆらと沈んでいく様子が見られます。まるで、水中の滝のようです。これはシュリーレン現象と呼ばれるものです。子供たちは、「すごい！」「きれい！」「いつまでも見ていられる！」と興奮気味でした。シュリーレン現象は、日常生活の中でも見られます。紅茶の中に砂糖を入れて溶かしたときも見られますし、陽炎など気体中でも発生します。



これから学習が進むにつれて、様々な物を溶かしたり、溶かしたものを取り出したりする実験を行います。物の溶け方について追及する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現することが大切になっていきます。